

## ミクロ経済学演習 01（講義 1 に対応）

矢野 誠

**問 1.** 機会費用を考えることは合理的行動を行うための第一歩である。この事実を以下の設問に沿って説明せよ。

- A. 現在、どんな経済活動を行っているか。
- B. そのうちの一つを取り上げ、その機会費用がどのようなものであるかを述べよ。
- C. 自分が実際に行う活動よりも機会費用の方が自分にとって価値のあるものならば、合理的な判断が行われていない。そのような経験があったら、どのようなものか。

**問 2.** 現在、あなたは大学生として生きるという選択を行っているわけだが、それによって犠牲となっている選択肢を 5 つ列記せよ。さらに、大学生として生きるという選択をすることの機会費用を説明し、大学生として生きるという行動が現在のあなたにとって最適行動であるかことを確認せよ。

**問 3.** ある財の価格が上がれば、その財を自分が買いたいと思う量は減るはずである。なぜだろうか。

**問 4.** ある財の価格が上がれば、市場全体でその財への需要が減るはずである。なぜだろうか。

**問 5.** 次の問いに答えよ。

- A. 不作でお茶の供給量が減ったとき、お茶の価格は上がると考えられる。需要曲線を使って、説明せよ。
- B. お茶が健康によいという研究が発表されたためお茶の人气が上がると、お茶の需要は増える。
- C. B で考えた変化の結果、お茶の価格が上がると考えられる。需要曲線を使って説明せよ。
- D. 上の問題からも分かるように、お茶の需要はその価格と人气に依存する。設問 A と B では、どちらも、お茶の需要を非説明変数と考えている。それぞれ

の設問において、説明変数およびパラメタとして扱われている変数は何か。説明せよ。また設問 C における非説明変数、説明変数、パラメタは何か。

**問 6.** 現在のテーマに関して、パラメタを確定せずに話し合いを行っても、望ましい結論には、決して到達しない。そのような例を身近な経験から探してみよ。政府の政策説明などでは、パラメタのすり替えが行われることが多いようである。そのような例を探してみよ。